

舞台芸術学科 学科ルーブリック（学修到達度ルーブリック）

芸術学部ディプロマ・ポリシー			学科別	4	3	2	1
DP	6つの力	内容	芸術	卒業時到達レベル （＝DPにおける到達目標レベル）	3年修了時到達レベル	2年修了時到達レベル	1年修了時到達レベル
人間力 自立した一人の人間として 生きるための力	知識・情報収集力	自分をとりまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	社会と舞台芸術の密接なかかわりを理解し、新たな舞台芸術の創造と発信に向けて多角的に知識や情報を収集し理解できる。	卒業制作として自ら選択した舞台作品や研究論文等を社会へ発信するために必要な情報や知識を収集し制作に役立てることができる。	卒業制作、さらにはキャリアを選択するために必要な知識と情報を体系的に収集することができる。	モチーフとして提示された演劇作品のテーマや世界観を理解するために知識や情報を収集できる。また、小劇場（studio21）で上演するために必要な技術に関する知識や情報を収集できる。	モチーフとして提示された短編の理解に必要な情報や知識を主体的に収集することができる。
	コミュニケーション力	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	舞台芸術が他者との協働によって成立していることを体験的に理解し、主体性を持ち合せることで一つの目標に向かって役割や役職の異なる他者と協働できる。	卒業制作として演劇、またはミュージカル作品を社会に向けて発信するために、座組のメンバーさらには学外の関係者と協働することができる。または、研究論文等を執筆するために関係各所と実際のコミュニケーションを展開できる。	卒業制作公演を実施する座組を形成するために他者と協働することができる。または、研究論文等のテーマを選択するために関係各所と適切なコミュニケーションがとれる。	演劇作品を小劇場で上演するために、同じ役職のグループ内、さらには他部署との間に相互理解を形成し、協働することができる。	短編の舞台創作に向けて他者や他部署と相互理解を形成し、協働することができる。
	倫理観	自身の良心と社会の多面的な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	観客が存在してこそその舞台芸術であることを体験的に理解し、社会の縮図たる観客に多面的な価値観を提供することでより良い社会の形成に貢献できる。	卒業制作公演を広く社会へ向けた具体的メッセージとして上演することができる。または、研究論文等を広く社会へ向けた具体的メッセージとして発表できる。	いかに社会に役立つのか、役立てていくのかを卒業制作、さらにはキャリアを選択する具体的根拠とできる。	演出家（教員）が提示する演劇作品のテーマと社会との相関を共有し理解することができる。また、舞台作品を社会への具体的メッセージとして上演することができる。	短編の上演を通して「何を観客に伝えたいのか」をそのテーマ性を提示できる。
創造力 芸術の力を社会に活かすための力	論理的思考力	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる	自分を取り巻く社会の動向と戯曲や作品の世界観を論理的に統合し自らの考えを提案できる。また、自身の専門性に応じた戯曲や作品の分析、論理的思考が展開できる。	知識や情報、経験をもとに卒業制作のテーマや内容を自身の役職の専門性に応じて体系的に分析、思考し深めていくことができる。	卒業制作、さらにはキャリアを選択するために得た知識や情報を分析、思考することで自らの意志に反映させることができる。	知識や情報、経験値をもとに、モチーフとして提示された演劇作品を自らが選んだ役職に応じて分析し思考できる。	モチーフとして提示された短編戯曲の舞台化に向けて体系的に分析、思考することができる。
	発想・構想力	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	分析や思考から得られた発想を自身の専門性に応じてデザイン、プラン、役づくりなどへ発展させることができる。さらに、他者や他の役職と協働しリハーサルを体系的に展開できる。	卒業制作公演の実施に結びつく仮説として、自身の役職と他部署との相互関係を考慮しながら構想、デザインすることができる。または、研究論文・戯曲等の執筆に向けて章立てや場面割ができる。	卒業制作、さらにはキャリアを選択するために知識や情報、経験値を統合し、具体的な将来像や仮説を構想できる。	分析や思考から得られた発想を自らが選んだ役職に応じてデザイン、プラン、役づくりなどへ発展させることができる。さらに、他者や他の役職と協働しリハーサルを体系的に展開できる。	分析や思考から得られた発想を、短編の舞台化に結びつく仮説やプランとして他者とともに構想できる。また、他者とともに計画的にリハーサルを展開できる。
	表現力	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる	独創性と協調性とを発揮し、作品テーマや世界観を説得力をもって広く社会へ表現することができる。	自らが選んだ役職の専門性を発揮することで、卒業制作公演の上演に貢献できる。または、舞台芸術に関連するテーマを論文、戯曲、作品として具体的に発表できる。	自らが選んだ卒業制作、さらにはキャリアについて口頭また文章で提示できる。	自らが選んだ役職において小劇場（studio21）での演劇公演の上演に貢献できる。	自らが選んだ役職において短編の戯曲の舞台化に貢献できる。